

平成27年度 就労継続支援A型事業所ぬくもり弁当
事業報告

作成日 平成28年5月16日
作成者 藤本 憲

利用者数 17名
利用定員数 20名
職員 4名

事業内容

- ・お弁当の製造・販売(ぬくもり弁当)
- ・しいたけカレーや佃煮の仕入れ販売(道の駅)
- ・魔法のたわし等「ぬくもり弁当手芸品」の製造販売(道の駅)
- ・営業活動・顧客開拓

事業収益の推移

平成26年度

項目	金額
事業収入	¥10,734,121

事業支出	
材料費	¥5,256,859
水道光熱費	¥1,931,639
社員(利用者)給与	¥14,085,160
諸経費	¥2,279,512
小計	¥23,553,170

事業収益(人件費含む)	¥-12,819,049
-------------	--------------

運営収入	¥26,417,959
(その他収入)	¥315,947
小計	¥26,733,906

最終損益	¥13,914,857
------	-------------

平成27年度

項目	金額
事業収入	¥9,319,559

事業支出	
材料費	¥4,703,764
水道光熱費	¥1,666,016
社員(利用者)給与	¥13,260,299
諸経費	¥1,500,544
小計	¥21,130,623

事業収益(人件費含む)	¥-11,811,064
-------------	--------------

運営収入	¥25,584,058
(その他収入)	¥381,942
小計	¥25,966,000

最終損益	¥14,154,936
------	-------------

前年度と比べると事業収入は減少しているが、材料費、水道光熱費、諸経費が大幅に削減されている。

これは、作業工程の見直しと効率化を行った結果である。

また、食材費や弁当容器等の消費税や原材料の高騰がある中で無駄の出ない使い方より安価で質を落とさない物を探し、経費の削減を行っている。

食材、包装費等の経費削減を行っているが、曜日により選べるメニューや、目新しいメニュー、地域食材を積極的に使い以前よりバリエーションを増やす事が出来ている。それにより顧客の反響も大きく、特別メニューの日は一日150食近い食数の注文を頂く。

社員給与(利用者賃金)については、一般就労に向けて2名の退所があり、減っている。

各事業 事業内容報告 ぬくもり弁当

顧客開拓

- ・弟子屈町内全域、美留和・川湯全域、屈斜路方面、標茶方面に展開し配達・営業を行う。
- ・営業しやすい「チラシ」を作成。これはメニューを説明しやすく、売りやすさを強化している。
- ・アピールポイントを絞る事によって、今までは漠然と「ただチラシを配ればよい」という感覚から「お客様と直接話しをし説明する事」に重点を置くことが出来た。
- ・ミーティングを行い、個々の弱点を共有化し分析を行いお互いをフォローしながら(営業は複数名で行う)向かう。
- ・お客様から直接苦情を伝えられる事がある為、精神的な負担が大きく、メンタルケアも必要である。

厨房作業(調理・清掃)

- メニューのバリエーションが増えた事で動きが多様化されている。
- メインのメニューを担当し調理を出来る方が居たが、一般就労に向けた動きで退所された為、なかなか後が続いていないが、人員の見直しを行い午後行っていた「仕込み」作業を効率良く、午前中に回す事ができている。また、仕込みに取り掛かる利用者さんが増え、個人の能力が上がってきている。
- メインのメニューを調理出来る方を増やす、育てるというのは今後の課題である。
- 洗い物をする時の水量や、方法を細かく見直しをし、水の汚れない方法で水道代節約ガス代節約を利用者さんに周知して頂いている。
- 毎日の掃除をきめ細かくする事により食中毒を出さない様、衛生管理を行っている。
- また、夏場の高温時期にもお弁当をよく冷ましてから包むといった提供管理も行っている。

事業全体を通して

- 「個人の能力を活かす」事に重点を置き、厨房、配達、掃除、事務、営業、、個々での長所を現場で活かす様な環境作りを行っていた。
- それにより、やりがい・充実感をもって作業され、生活面、精神面が安定される方が多い。

- ・弁当製造事業以外の収益も少しづつではあるが、周知され伸びている。(道の駅販売等)
- ・営業活動は、各所の内容を盛り込んだ説明を直に行う事で集客・顧客獲得につながるのだが、余裕のない時期での業務に追われ弁当の内容説明がおざなりになってしまう現状である。
- ・「ぬくもりの日」が浸透したおかげで月一での特別感を出す事が出来、集客を得る事や利用者の緊張感や達成感を得る事が出来た。

- ・職員の支援技術の向上によって利用者の細かな変化に気付き様々なケースに対応し日々の作業に反映する事ができる様になってきている。また、対応内容の統一化が図れている。

次年度の課題

- ・災害避難経路マップ作成。(5月現 作成進行中)
- ・事業の見直し...他分野への参入。(新規)収益向上の為、研修・見学を行い、事業に反映させる。現存の施設を活かした、事業参入も検討。
- ・支援力の強化...支援のバランスを考え過度な行動にならないように。対応統一化の継続。
- ・利用者さんの仕事...消化作業にならない時間配分や業務の計画を立てていく。新規参入時の担当利用者を決め、責任を持って業務遂行して頂く。
- ・休日出勤(稼働日)...月8日以上上の休日を稼働日に出来るので、イベント主催(ビアガーデン)町内の販売イベントに出店参加する事で開所日を増やす。